

13 私の家の防災診断

自宅にいるときの地震による被害や火災の原因について考え、その原因をどうすればなくすることができるかを学習します。学習した知識をもとに、実際に「私の家の防災診断」をしてもらいます。



地震の揺れや火事による被害の発生原因が身近にも存在することを学習します。

高/中学
小学校高学年、中学生以上

演習 教室 40分

時間軸

実施内容

対象人数★5～40人

1 導入 (10分)

⇒映像2、19、25

映像 25 (家の中の揺れの様子)、映像 2 (阪神・淡路大震災のときの家の様子)、映像 19 (火災の様子) を見せながら、地震や火災の怖さについてイメージしてもらいます。



映像・写真を見ながら、地震や火災をイメージ

2 対策について考える (15分)

⇒資料13-1

- 1 自宅のなかで地震による被害が発生する可能性、火災の原因となるものなどについて考えてもらい、被害を防ぐための対策を資料 13-1「地震・火災の被害を防ぐには」に書き込んでいきます。地震なら地震、火災なら火災について項目ごとに学習してもよいでしょう。
- 2 書き終わったら意見を出し合います。指導者は黒板に意見を書き出して整理します。



被害を防ぐための対策を検討

3 対策について学習する (15分)

⇒資料13-2、13-3、13-4

- 1 発表してもらった意見について、資料 13-2 (指導者用) により解説していきます。なぜそのような対策が必要なのか、子どもに考えさせ意見を求めてもいいでしょう。
- 2 その他、対策についてのポイントを伝えます。

●● 指導ポイント

なかなか答えが出ないときは、ヒントを出しながら考えてもらいましょう。

●● 自主防災組織の関わり方

固定していない家具は地震の揺れでどうなるか、また火災の恐ろしさなどについて、防災診断全般についてお話をお願いします。

●● 準備するもの(目安)

準備品	数	備考
<input type="checkbox"/> 映像「家の中の揺れの様子」	1	映像25
<input type="checkbox"/> 映像「阪神・淡路大震災のときの家の様子」	1	映像2
<input type="checkbox"/> 映像「火災の様子」	1	映像19
<input type="checkbox"/> 資料「地震・火災の被害を防ぐには」	人数分	資料13-1 (配付用)
<input type="checkbox"/> 資料「地震・火災の被害を防ぐには(指導者用)」	1	資料13-2 (指導者用)
<input type="checkbox"/> 資料「私の家の防災診断」	人数分	資料13-3 (配付用)
<input type="checkbox"/> 資料「住宅用火災警報器を設置しましょう!」	人数分	資料13-4 (配付用)
<input type="checkbox"/> 筆記用具	人数分	
<input type="checkbox"/> 模造紙、油性ペン	グループ数	
<input type="checkbox"/> スクリーン	1	必要に応じて準備
<input type="checkbox"/> プロジェクタ	1	必要に応じて準備
<input type="checkbox"/> パソコン	1	必要に応じて準備
<input type="checkbox"/> スピーカー	1	必要に応じて準備

●● 家庭への持ち帰り

チェック表「私の家の防災診断」(資料 13-3) を配付し、家庭で取り組んでもらいます。チェック表で危険が見つかった場合は、子どもだけでは改善不可能なものが多くありますので、保護者と一緒になって取り組んでもらいましょう。

●● ひと工夫

メニュー6「比べてみよう、日常生活と被災生活」のテーマを家庭や住宅に限定することによって、家庭で防災について考える機会となります。